令和5年度 海浜等清掃活動(要旨) 報告書 (海の羽根基金事業)

令和6年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

1. 調査票の配布先と回収状況

調査票は全都道府県(47 都道府県)に配布し、表 1 に示す 37 都道府県から回答を得た。

表 1 調査票の回収状況

整理番号	都道府県名			回収	整理番号	都道府県名			回収
1	北	海道		0	25	島根		県	0
2	青	森	県	0	26	岡	Щ	県	0
3	岩	手	県	0	27	広	島	県	0
4	宮	城	県	0	28	Ц	П	県	0
5	秋	田	県	0	29	徳	島	県	0
6	Щ	形	県	0	30	香	Ш	県	0
7	福	島	県	0	31	愛	媛	県	0
8	茨	城	県	0	32	高	知	県	
9	千	葉	県	0	33	福	岡	県	0
10	東	京	都	0	34	佐	賀	県	\circ
11	神	奈 川	県	0	35	長	崎	県	0
12	新	潟	県	0	36	熊	本	県	0
13	富	Щ	県	\circ	37	大	分	県	\circ
14	石	Ш	県	\circ	38	敂	崎	県	\circ
15	福	井	県	\circ	39	鹿	児 島	県	\circ
16	静	岡	県	\circ	40	沖	縄	県	
17	愛	知	県	\circ	41	栃	木	県	
18	三	重	県	\circ	42	群	馬	県	
19	滋	賀	県		43	埼	玉	県	
20	京	都	府		44	旦	梨	県	
21	大	阪	府	0	45	長	野	県	
22	兵	庫	県	0	46	岐	阜	県	0
23	和	歌山	県	0	47	奈	良	県	
24	鳥	取	県	0	口		収	数	37

注:網掛け部分は回答が得られなかった府県

2. 調査結果

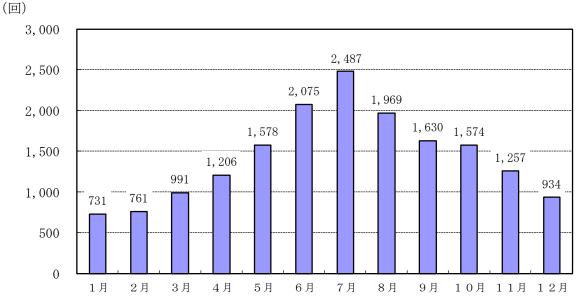
(1)活動回数

月別の活動回数と割合を図 1及び図2に示す。

令和5年には、全国で17,193回(令和3年は11,588回、令和4年は16,935回)の清掃活動が行われた。特に6月、7月、8月は活動回数が多く、全体の4割(38%)を占めた。また、5月から10月までの半年間で全活動の7割(66%)が行われていた。

図 1 月別活動回数

実施回数



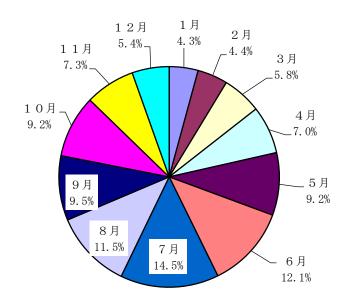


図 2 月別活動回数(割合)

(2) 清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数を表 2 に、清掃活動を実施した場所別の参加人数の割合を図 3 に示す。

清掃活動の参加人数は、61 万人(令和3年は43万人、令和4年は61万人)であった。参加人数を活動場所別にみると、海岸(53万人)と河川(6万人)での活動が多く、この2つをあわせると全参加人数の殆ど(97%)を占めた。

清掃距離は、海岸が 14,533km、河川が 1,754km、湖岸が 154km であった。また、海域 (海上)の清掃面積は 371 km²、湖域(湖上)の清掃面積は 37 km² であった。

表 2 清掃活動実施場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

		全体	海岸	海域	河川	湖岸	湖域
参加人数(人)	608, 473	528, 322	5, 711	64, 054	8, 165	2, 221
清掃距離	距離 (km)	16, 441	14, 533	_	1, 754	154	_
	面積 (km²)	408	_	371	_	_	37

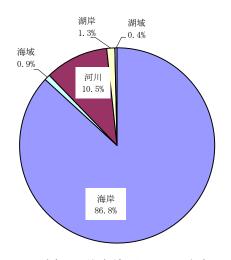


図 3 清掃活動実施場所別の参加人数(割合)

(3) 清掃活動参加者の構成

清掃活動参加者の構成を図 4 に示す。

清掃活動参加者の内訳は、成人男子が60.8%、成人女子が21.9%、大学生が1.4%、中・高校生が8.5%、小学生以下が7.5%であった。



図 4 清掃活動参加者の構成割合

(4) 主催団体別の清掃活動参加者数

主催団体別の清掃活動参加者数(割合)を図 5 に示す。これを見ると、1 位は「行政」で全体の 6 割(59%)、2 位は「地域関係」で全体の 1 割(13%)を占めており、この 2 つの団体が開催(主催)した清掃活動だけで、清掃活動参加者全体の 7 割(72%)を占めていた。

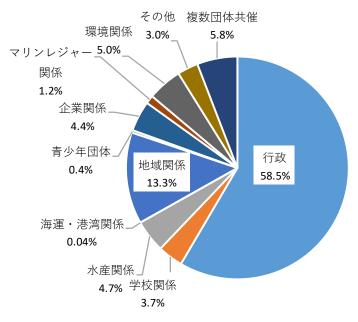


図 5 主催団体別の清掃活動参加者数(割合)

(5) 清掃活動団体の動員数(1947団体が回答)

令和 5 年に海岸等水辺の清掃活動に参加した団体について、動員数別団体数及び動員数別参加者数を表 5 及び図 12 に示す。内訳を見ると、動員数 50 人未満の団体は全体(1591 団体)の 55%、 $50\sim100$ 人未満の団体は 18%、 $100\sim500$ 人未満の団体は 22%、500 人~ 1000 人未満の団体は 2.5%、1000 人~10000 人未満の団体は 2.0%、そして 10,000 人以上の団体は 0.1%であった。(図 6 参照)

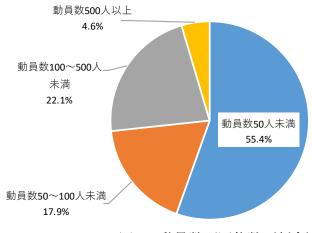


図6 動員数別団体数(割合)

(6) 清掃活動で回収したごみの処分方法(複数回答)

清掃活動で回収したごみの処分方法(依頼先)を表3に示した。

依頼先で最も多かったのは「行政」で 3,286 件(84%)であった。

その他の依頼先としては「民間」と「その他」があり、このうち「民間」は 521 件 (13%)、「その他」は 126 件(3%)であった。

この結果からも判る通り、依頼先は1か所だけの場合が殆どであり、複数箇所への依頼は50件程度(全体の1%)に過ぎない。

行政	民間	その他	実回答数
3,286 件	521 件	126 件	3,882件
(85%)	(13%)	(3%)	, , , , ,

表 3 回収ごみの処分方法(依頼先)

(7)団体の活動年数(回答数849件)

清掃活動年数を表 4 及び図 7 に示す。清掃活動を行う団体の活動年数をみると、回答数の 24.9%が 5 年未満、6.8%が 5 年以上 10 年未満、22.4%が 10 年以上 20 年未満、45.9%が 20 年以上であった。このことから、長年に亘り継続して清掃活動に取り組んでいる団体が多い (10 年以上 68.3%)中、新たに清掃活動に参加する団体も着実に出てきている(5 年未満 24.9%) ことが分かる。なお、活動年数の最長は 27 年 (20 年以上と回答した者を除く)、最短は 1 年であった。

表 4 団体の活動年数

5 年未満	5年以上10年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上
211 件	58 件	190 件	390 件
(24.9%)	(6.8%)	(22.4%)	(45.9%)

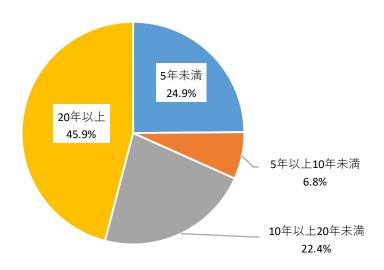


図7 清掃活動を行った団体の活動年数

(8) 回収したごみの種類と量

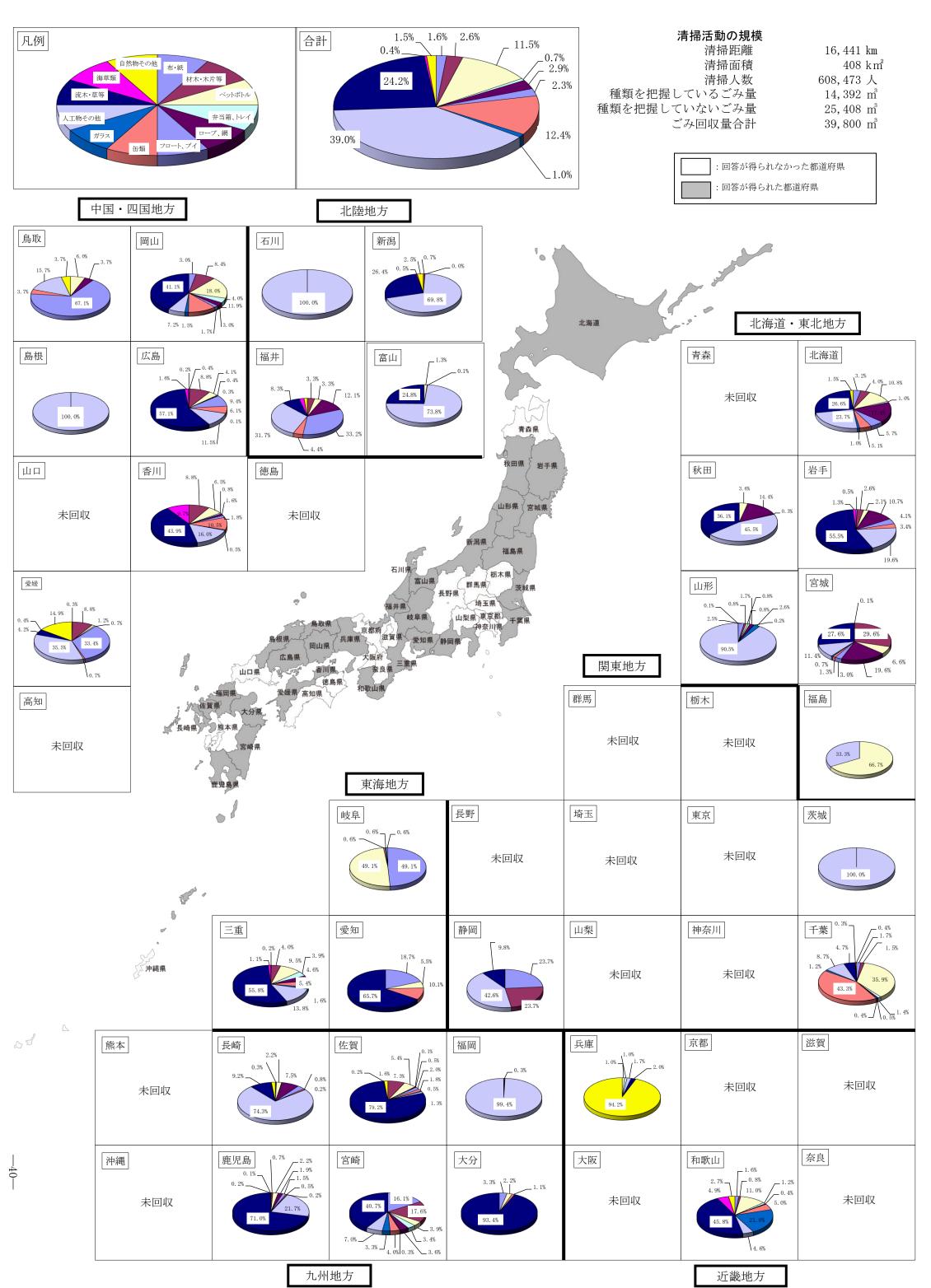
清掃を実施した場所別のごみ回収量及びその種類を表5のとおりであり、「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」を合計した場合の人工物と自然物の割合 (比率)はおおよそ4:3であった。

表 5 種類別のごみ回収量

単位: m³

項目	種類	全位	体	海	岸	海	域	河	岸	湖	岸	湖	域
	布・紙	233	(2.0%)	175	(1.7%)	0	(0.0%)	58	(7.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	材木、木片等	369	(3.2%)	249	(2.4%)	60	(14. 2%)	60	(7.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	ペットボトル	1,652	(14.3%)	1,616	(15.8%)	12	(2.9%)	24	(3.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	弁当箱、トレイ	97	(0.8%)	85_	(0.8%)	1_	(0.1%)	12	(1.5%)	0_	(0.0%)	0_	(0.0%)
	ロープ、網	413	(3.6%)	389	(3.8%)	12	(2.9%)	12	(1.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	フロート、ブイ	332	(2.9%)	240	(2.4%)	91	(21.5%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
種類を把握	<u> </u>	1, 784	(15.5%)	1, 752	(17.1%)	8	(1.8%)	22	(2.7%)	0	(0.0%)	3	(8.2%)
している	ガラス	146	(1.3%)	134	(1.3%)	0	(0.0%)	12	(1.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ごみ	人工物その他	6, 499	(56.4%)	5, 578	(54.6%)	238	(56.5%)	606	(75.1%)	40	(100.0%)	36	(91.8%)
	人工物計	11, 526	(100.0%)	10, 218	(100.0%)	421	(100.0%)	807	(100.0%)	40	(100.0%)	39	(100.0%)
	流木	3, 481	(92.8%)	2, 841	(96. 1%)	299	(68.5%)	279	(94.4%)	16	(0.0%)	46	(100.0%)
	海草・水草	54	(1.4%)	43	(1.4%)	1	(0.3%)	10	(3.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	自然物その他	216	(5.7%)	73	(2.5%)	137	(31.3%)	6	(2.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	自然物計	3, 751	(100.0%)	2, 956	(100.0%)	437	(100.0%)	295	(100.0%)	16	(0.0%)	46	(100.0%)
	小計	15, 277	-	13, 174	-	859	-	1, 102	-	56	-	85	-
種類を把握	人工物ごみ	7, 057	(38.4%)	6, 809	(69.0%)	27	(51.4%)	143	(1.7%)	77	(88.6%)	0_	(0.0%)
していない	自然物ごみ	11, 341	(61.6%)	3, 061	(31.0%)	26	(48.6%)	8, 244	(98.3%)	10	(11.4%)	0	(0.0%)
ごみ	小計	18, 398	(100.0%)	9,870	(100.0%)	53	(100.0%)	8, 387	(100.0%)	87	(100.0%)	0	(0.0%)
人工物ごみ	人工物ごみの合計	18, 583	(55. 2%)	17, 027	(73.9%)	449	(49. 2%)	950	(10.0%)	118	(82.1%)	39	(45.8%)
と自然物ご	自然物ごみの合計	15, 092	(44.8%)	6,018	(26.1%)	463	(50.8%)	8, 539	(90.0%)	26	(17.9%)	46	(54. 2%)
み	み小計		(100.0%)	23, 045	(100.0%)	912	(100.0%)	9, 489	(100.0%)	143	(100.0%)	85	(100.0%)
総量のみ把握		7, 010	-	6, 834	-	125	-	9	-	39	-	2	-
合計		40, 685	-	29, 879	-	1,038	-	9, 498	-	183	-	87	-

注:各欄の値は四捨五入してあるため、人工物計・自然物計・合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。



注)グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。